

羽曳野市転入・転出者調査結果

資料2

1 アンケート調査概要

1 アンケート調査概要

<アンケートの目的>

結婚・出産・子育て環境や移住・定住に関する市民ニーズや意見等を把握し、第2期戦略策定時に参考とさせていただくため

1 アンケート調査概要

(1) 調査対象者（18歳～65歳）

○転入者：過去3年間に於いて、転入された方の内 900人

○転出者：過去3年間に於いて、転出された方の内 1,200人

(2) 調査方法

○調査票の配布：郵送

○回答方法：郵送 または インターネット

(3) 調査期間

○令和4年9月1日～23日

1 アンケート調査概要

(4)回収数

	配布数	回収数	回収率
転入者アンケート	900人	263人	29.2%
転出者アンケート	1,200人	265人	22.1%

【参考】

<一般的アンケートの信頼性>

○許容誤差:1%~10%

○信頼度 :90%~99%



<今回のアンケートの場合>

○許容誤差:5%

○信頼度 :90%



許容誤差 : 母数との誤差の可能性

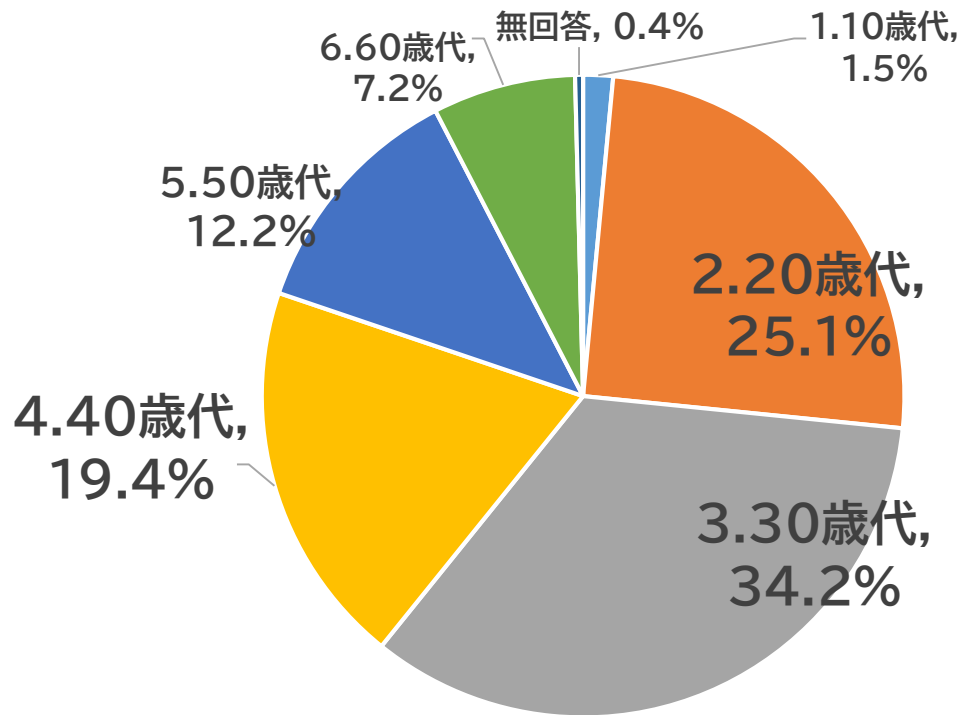
信頼度 : 許容誤差の範囲内の結果となる確率

2 アンケート調査結果概要

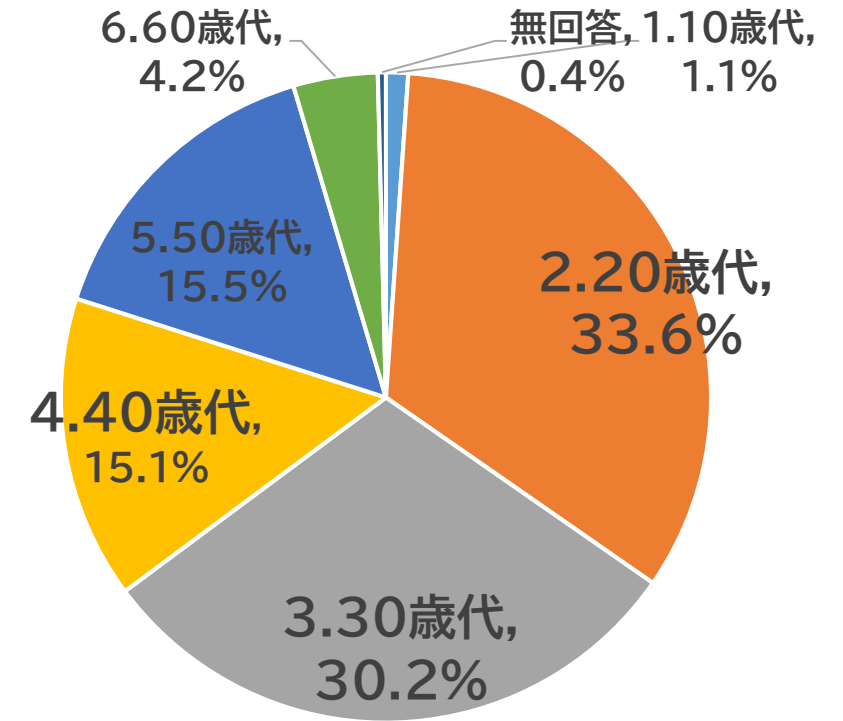
2 アンケート調査結果概要

○年齢層

【転入(問2)】



【転出(問2)】

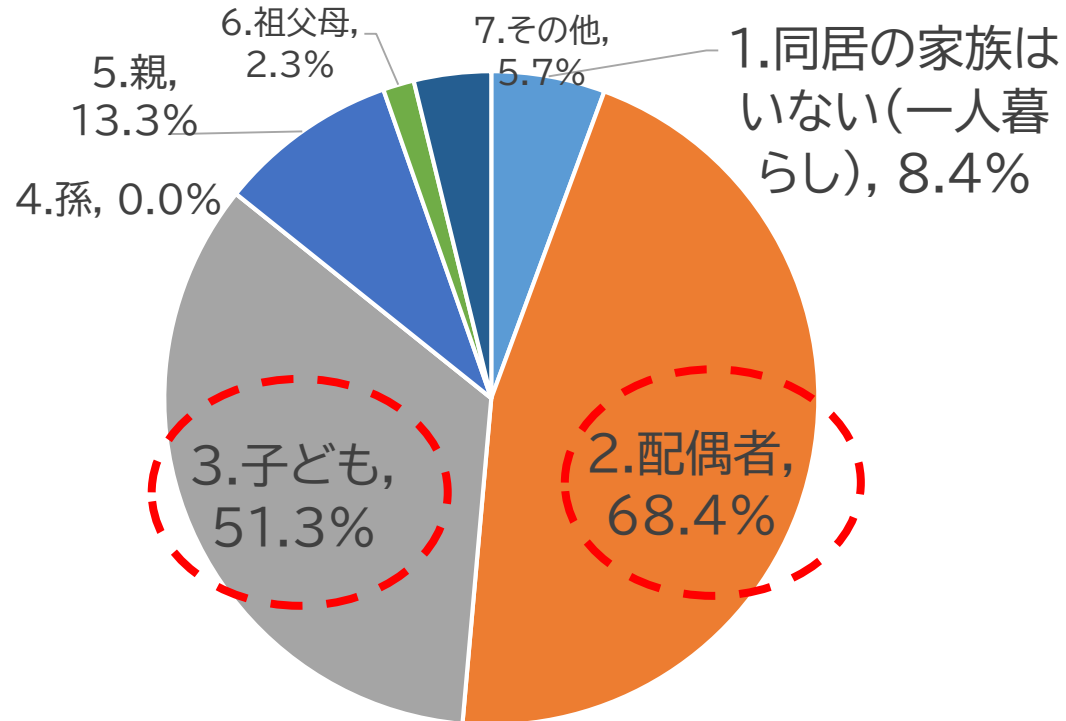


○転入・転出者ともに10～40歳代の
回答が約80%

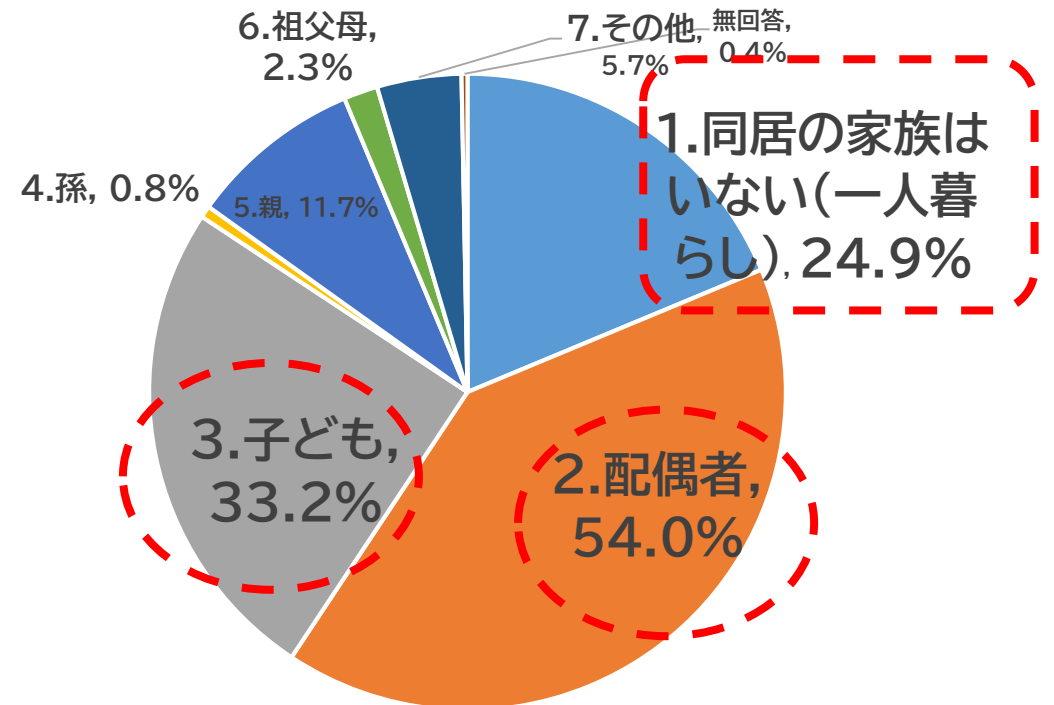
2 アンケート調査結果概要

○同居する家族

【転入(問4)】



【転出(問4)】

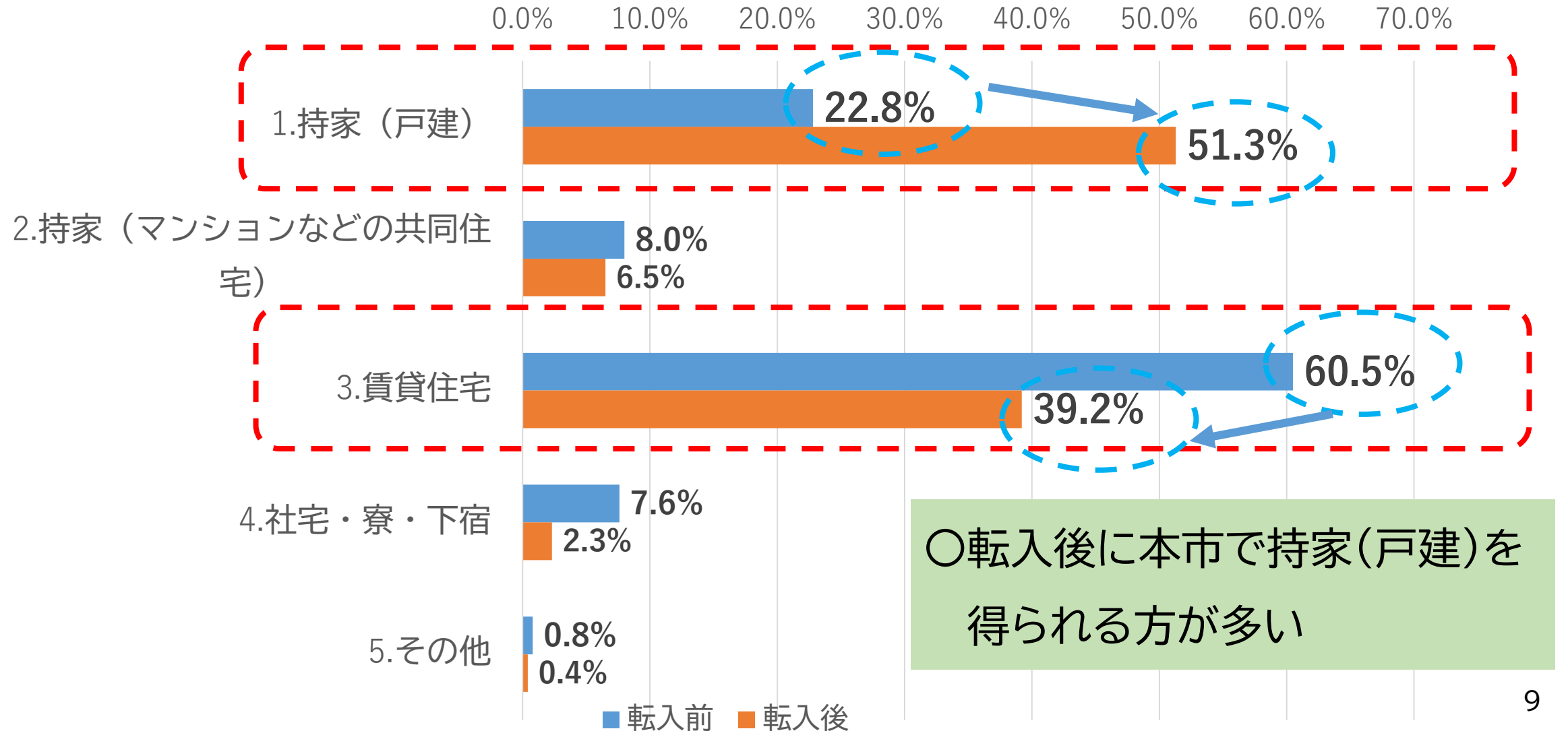


○転入・転出者ともに配偶者、子どもとの同居割合が高い

○転出者では一人暮らしの割合が高い

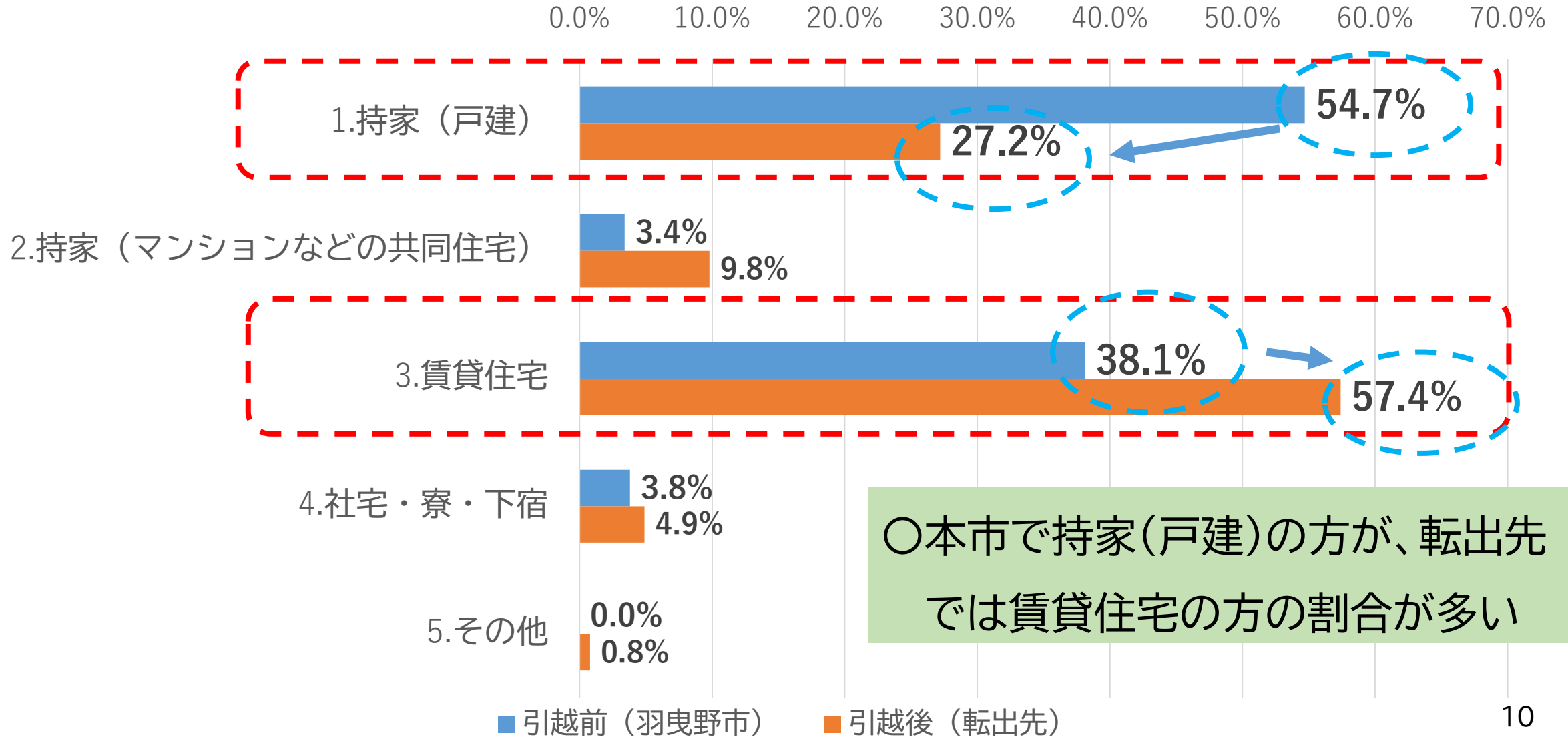
2 アンケート調査結果概要

○住宅状況(転入 問9)



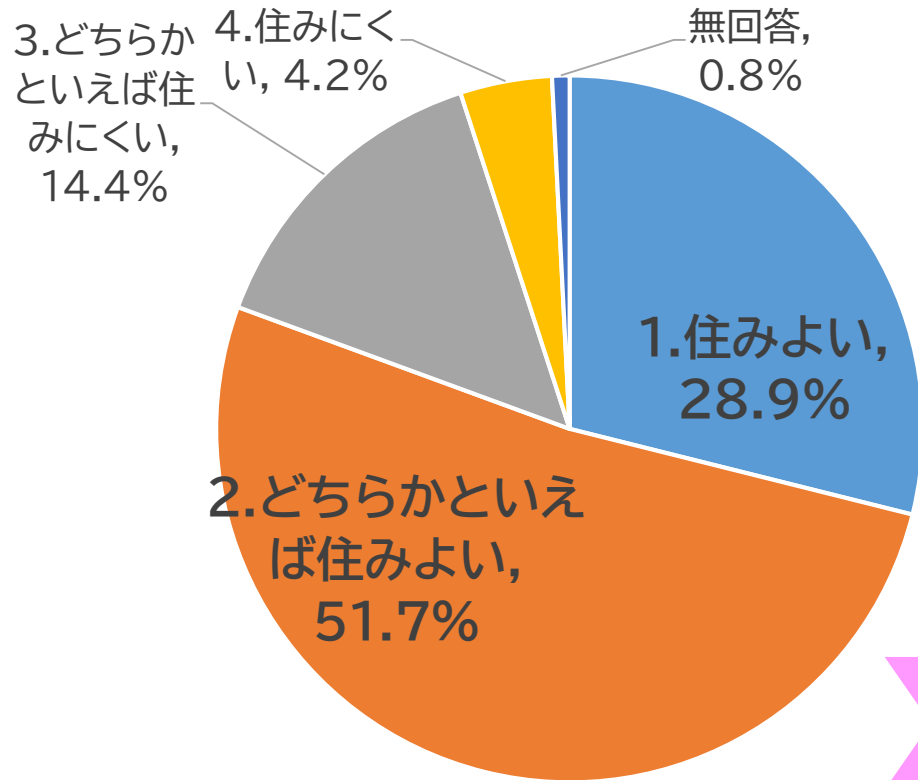
2 アンケート調査結果概要

○住宅状況(転出 問8)



2 アンケート調査結果概要

○住み心地(転入 問13)

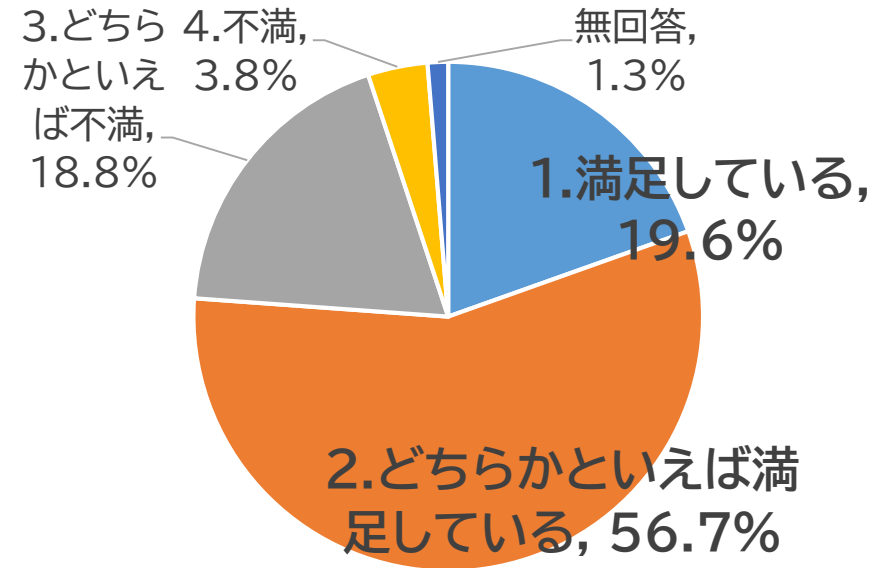


改善

☆「住みよい」「どちらかといえば住みよい」
⇒ **80.6%**

★「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」
⇒ **18.6%**

【参考：H27年度アンケート結果】



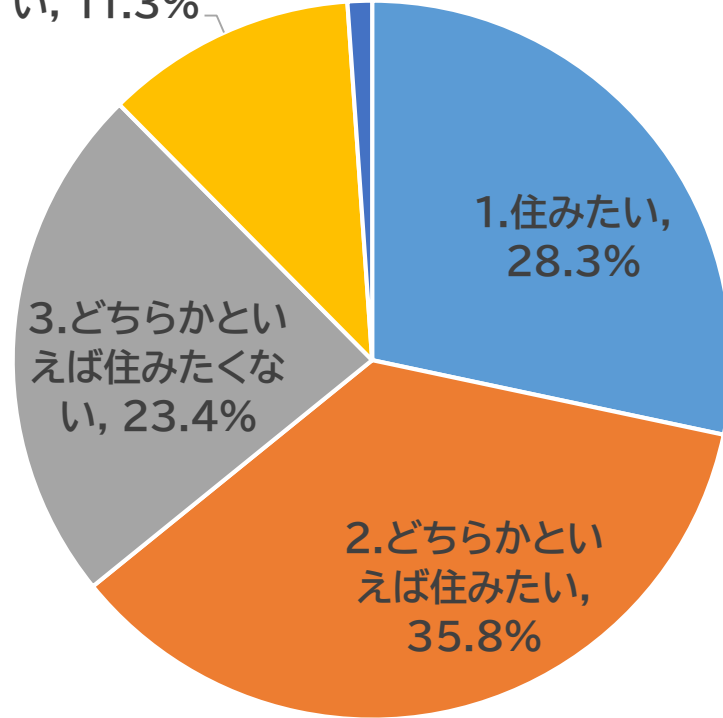
☆「満足している」「どちらかといえば満足している」
⇒ **76.3%**

★「不満」「どちらかといえば不満」
⇒ **22.6%**

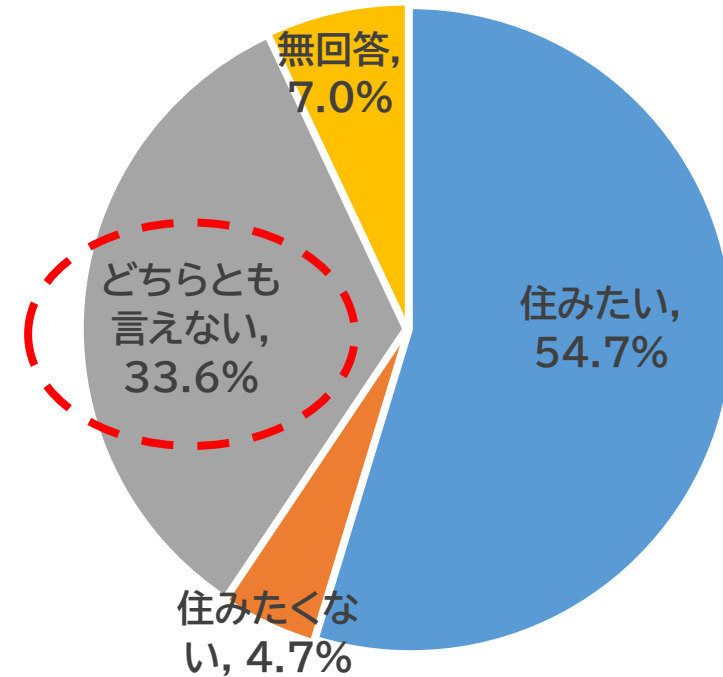
2 アンケート調査結果概要

○もう一度住みたいと思うか(転出 問11)

4.住みたくな
い, 11.3% 無回答, 1.1%



【参考：H27年度アンケート結果】



☆「住みたい」

+「どちらかといえば住みたい」 ⇒ **64.1%**

★「住みたくない」

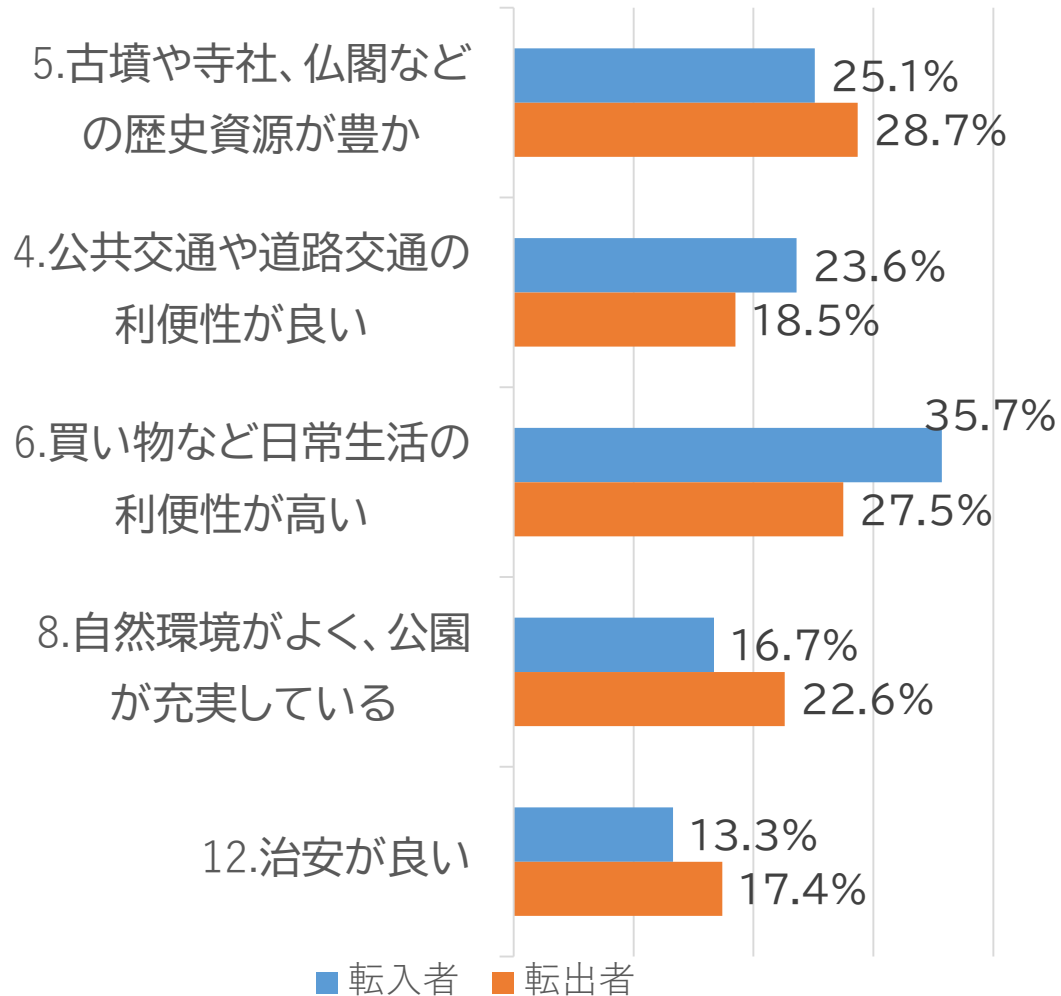
+「どちらかといえば住みたくない」 ⇒ **34.7%**

2 アンケート調査結果概要

○羽曳野市で生活して良い(良かった)こと、不満な(不満だった)こと

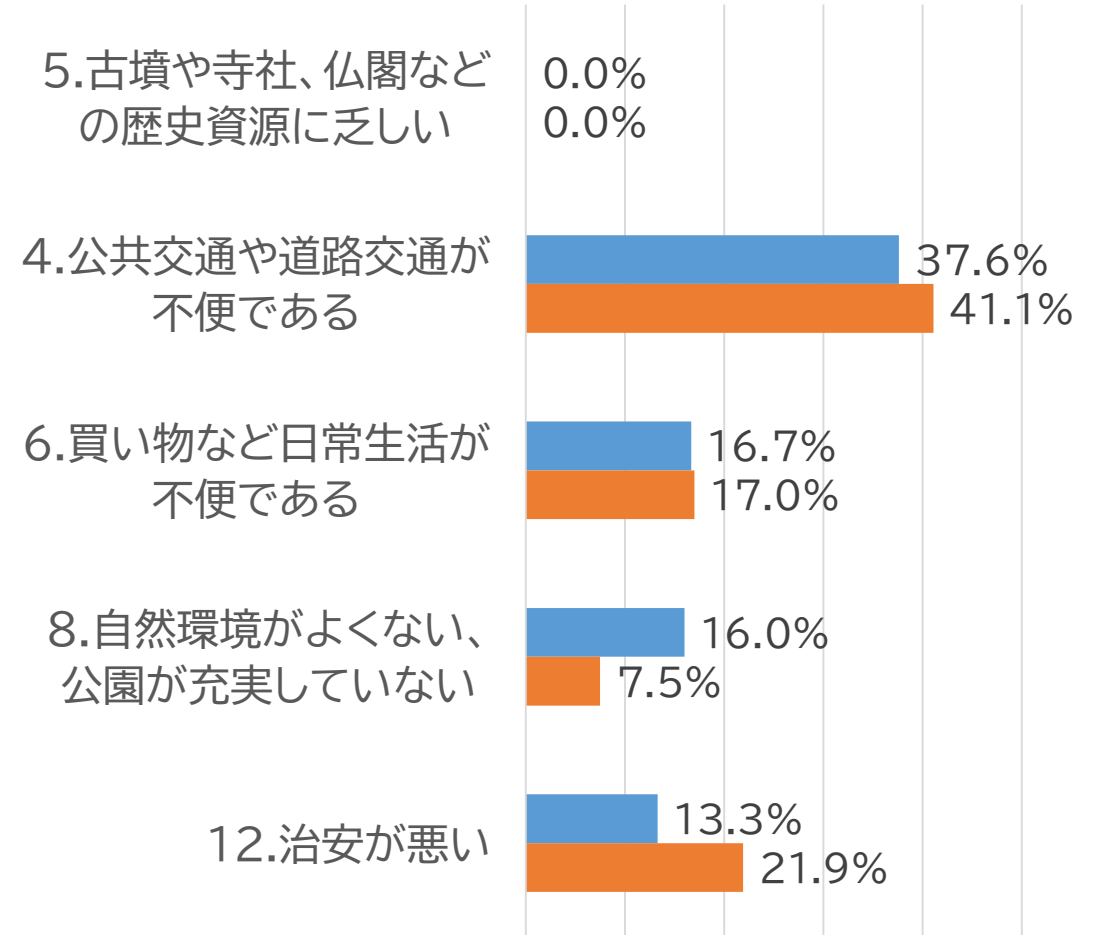
【良い(良かった)こと】

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0%



【不満な(不満だった)こと】

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0%



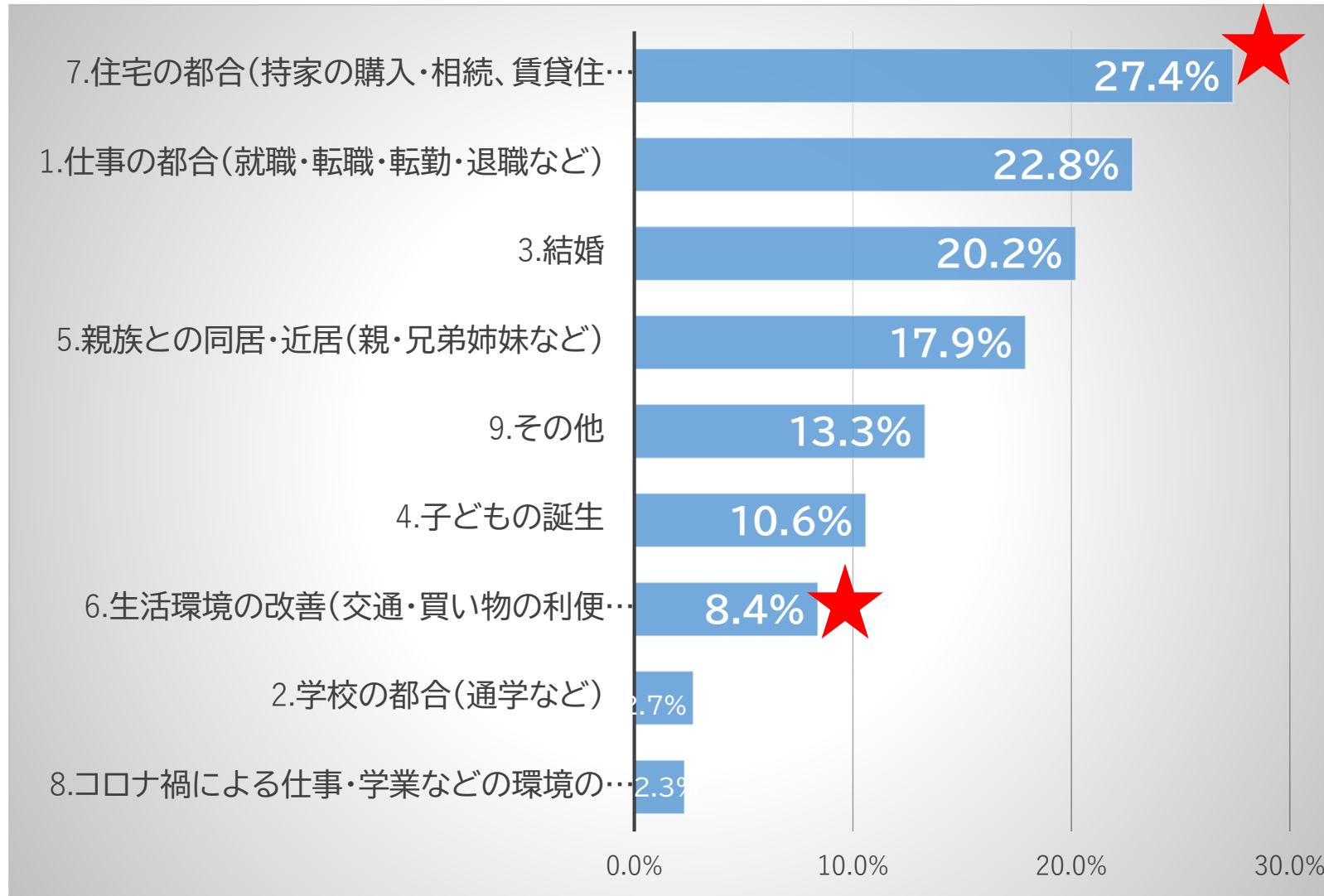
市民アンケート分析資料

資料3

【1】 転入理由に着目した分析

【1】 転入理由に着目した分析

■ 転入したきっかけ(問10)

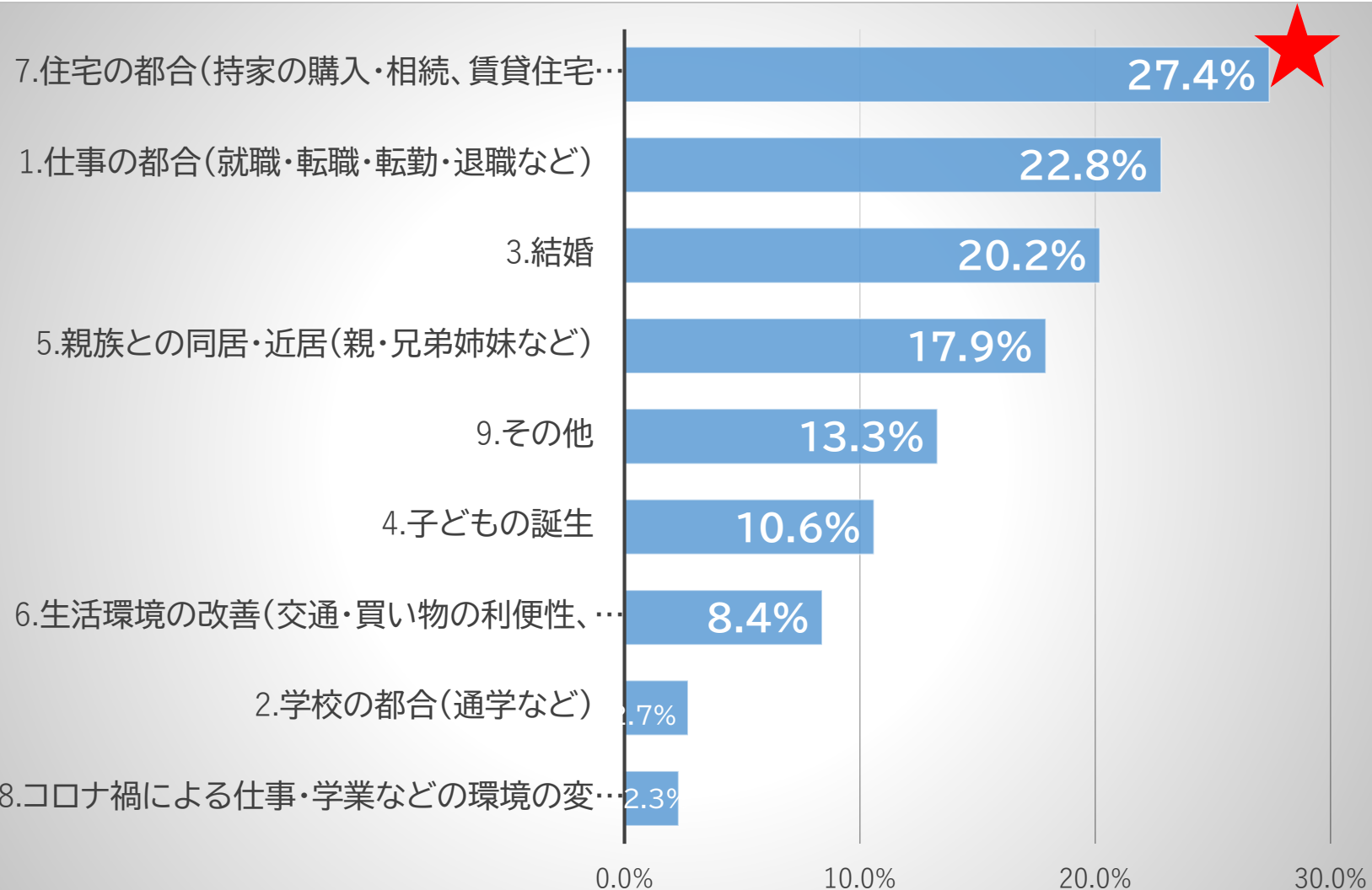


★ の理由は、市の施策
や事業が評価されている

★ 以外の理由は、直接
的には市の施策や事業が
結び付きづらい

【1】 転入理由に着目した分析

■ 転入したきっかけ(問10)



<住宅の都合
と答えた方>

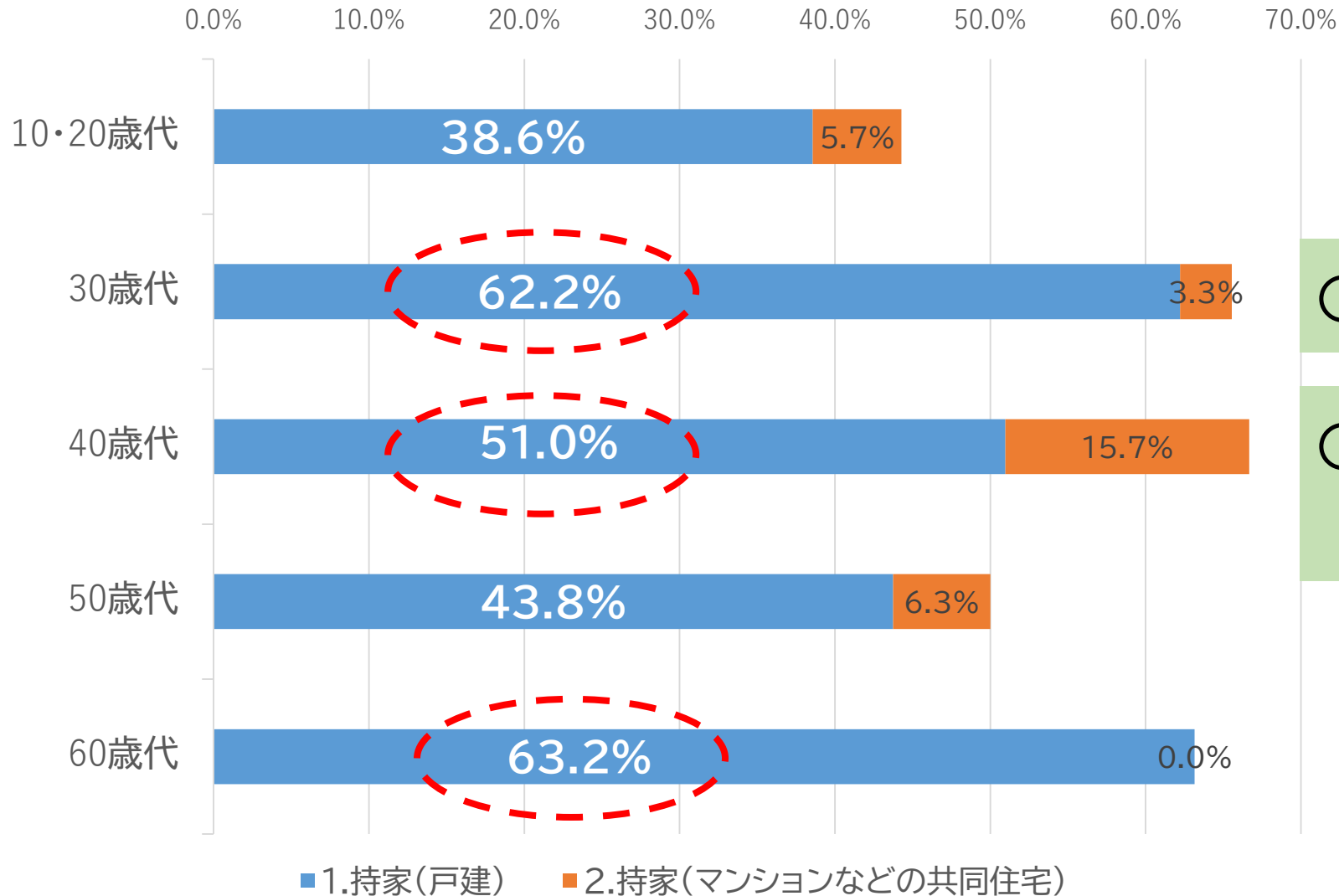
○住宅状況

○年齢構成

をクロスすると...

【1】 転入理由に着目した分析

■ 転入したきっかけ(問10) × 住宅状況 × 年齢構成

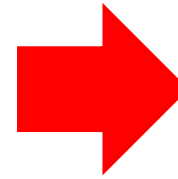
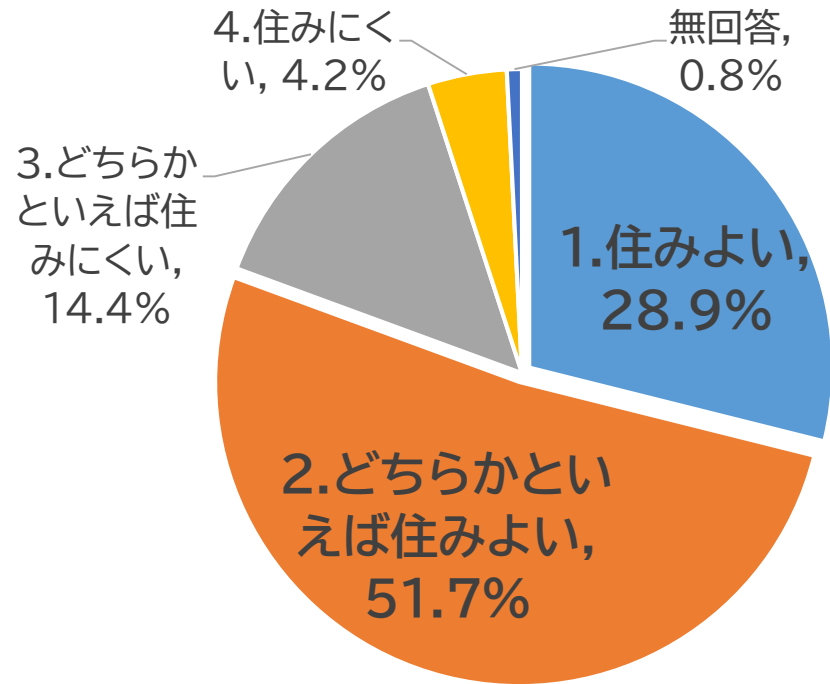


○持家(戸建)の割合が高い

○特に30歳代、40歳代、
60歳代に多い

【1】 転入理由に着目した分析

■羽曳野市の住み心地(問13)



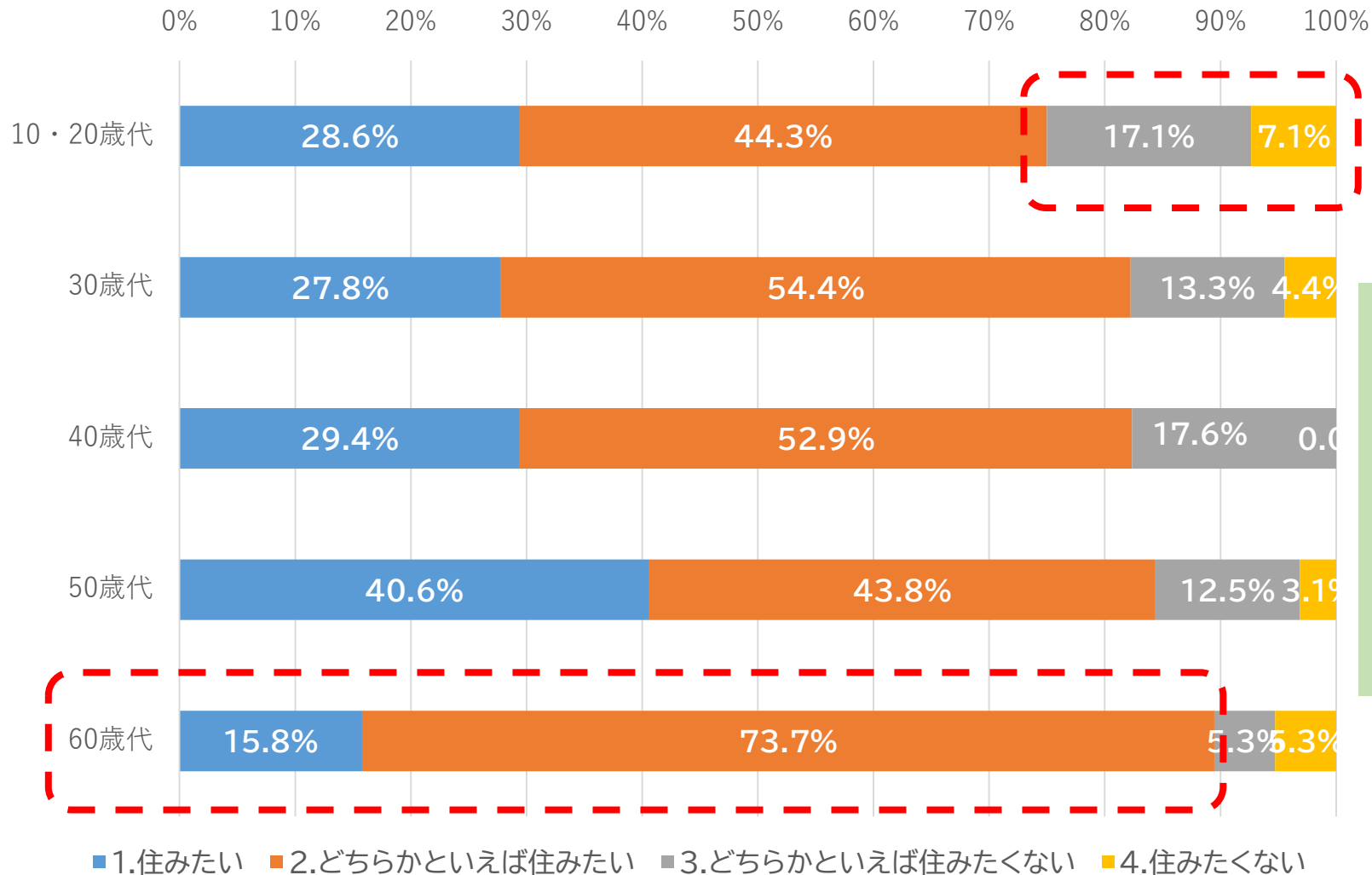
年齢構成をクロス
すると...

☆「住みよい」「どちらかといえば住みよい」
⇒ **80.6%**

★「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」
⇒ **18.6%**

【1】 転入理由に着目した分析

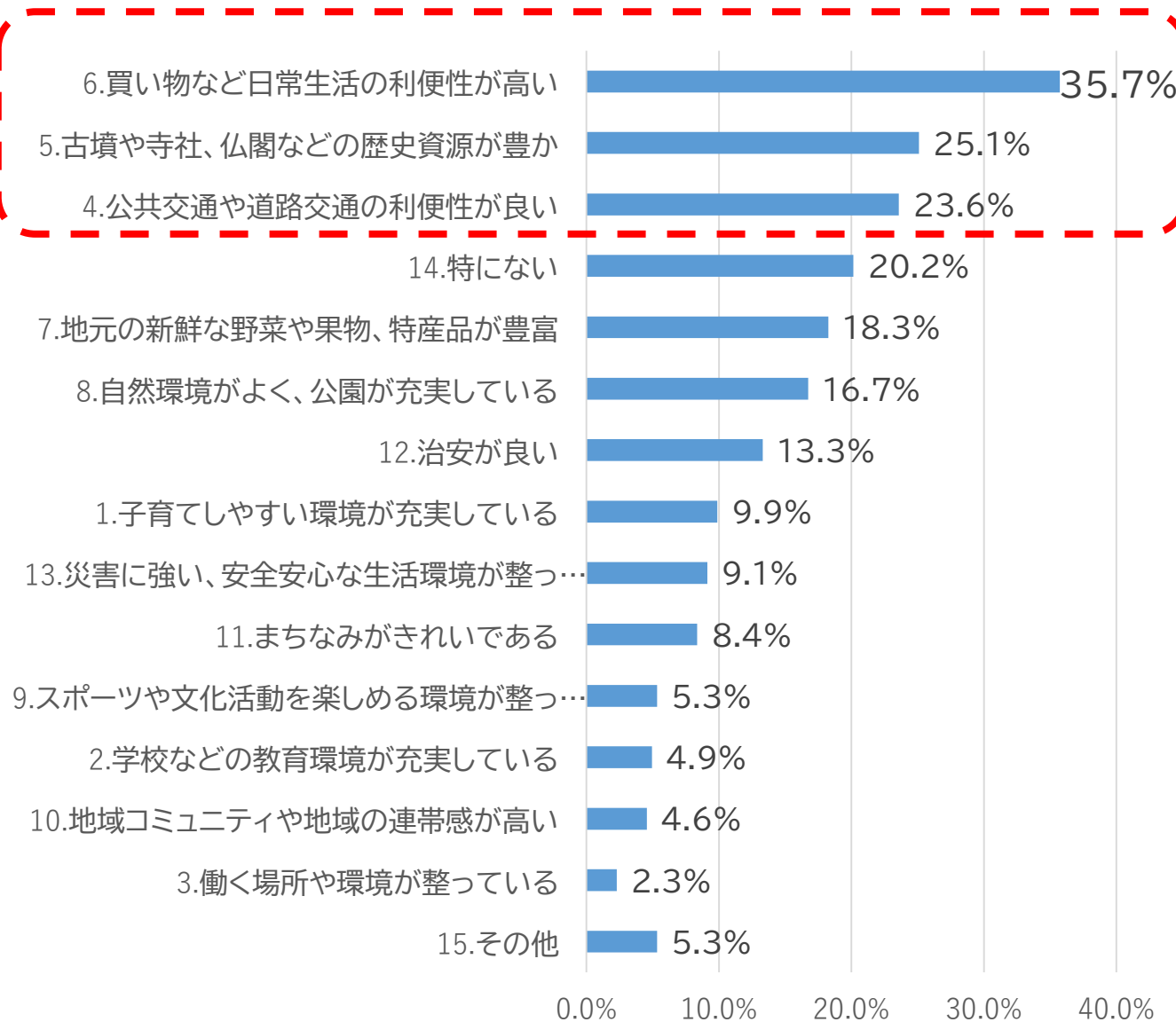
■羽曳野市の住み心地(問13) × 年齢構成



○年代が高いほど、「住みたい」「どちらかといえば住みたくない」の割合は高い

【1】 転入理由に着目した分析

■羽曳野市で生活していて良いこと(転入 問14)



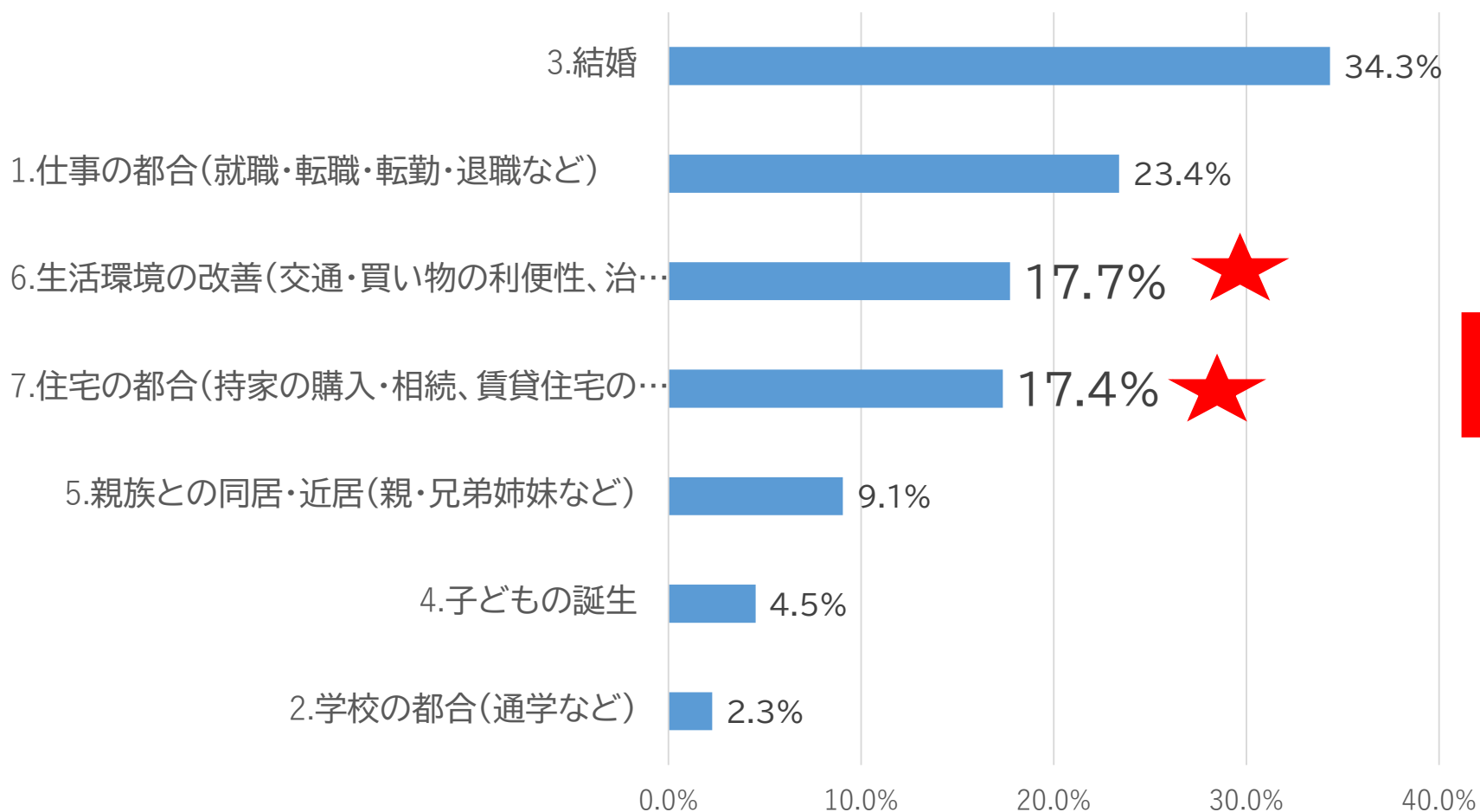
○転入者が生活して良いと感じた地域は、転入者を惹きつけるポテンシャルが高い地域

○市内でも、買い物など日常生活の利便性が高い地域、古墳や寺社、仏閣などの歴史資源が豊かな地域をPRすることで、強みを有する地域から周辺地域への波及効果が考えられる。

【2】 転出した理由に着目した分析

【2】 転出した理由に着目した分析

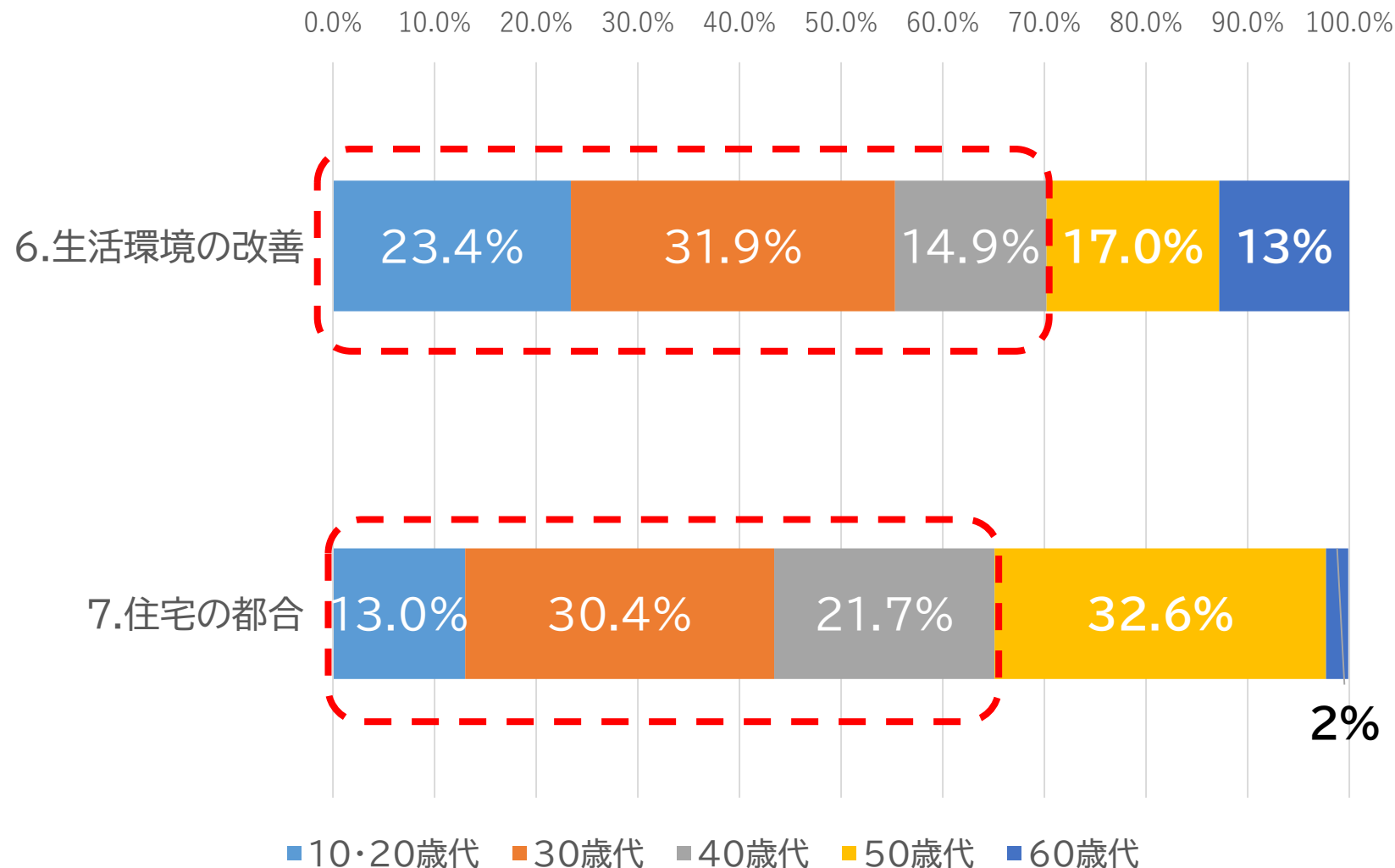
■ 転出したきっかけ(問9)



年齢構成をク
ロスする
と...

【2】 転出した理由に着目した分析

■ 転出したきっかけ(問9) × 年齢構成



生活環境の改善、住宅の都合ともに、10～40歳代で約60%超を占める

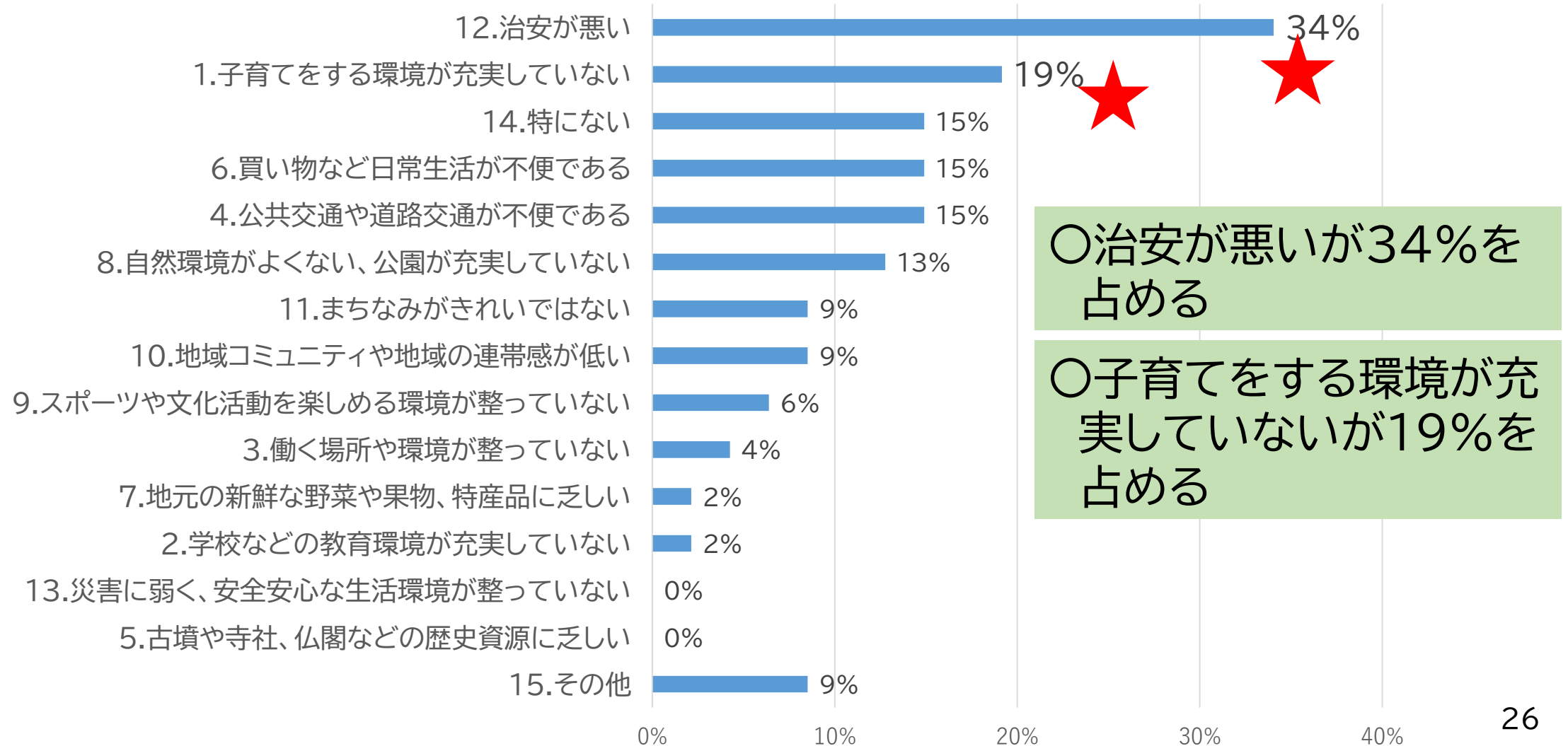
【2】 転出した理由に着目した分析

■転出者の羽曳野市の評価(問12、問13)

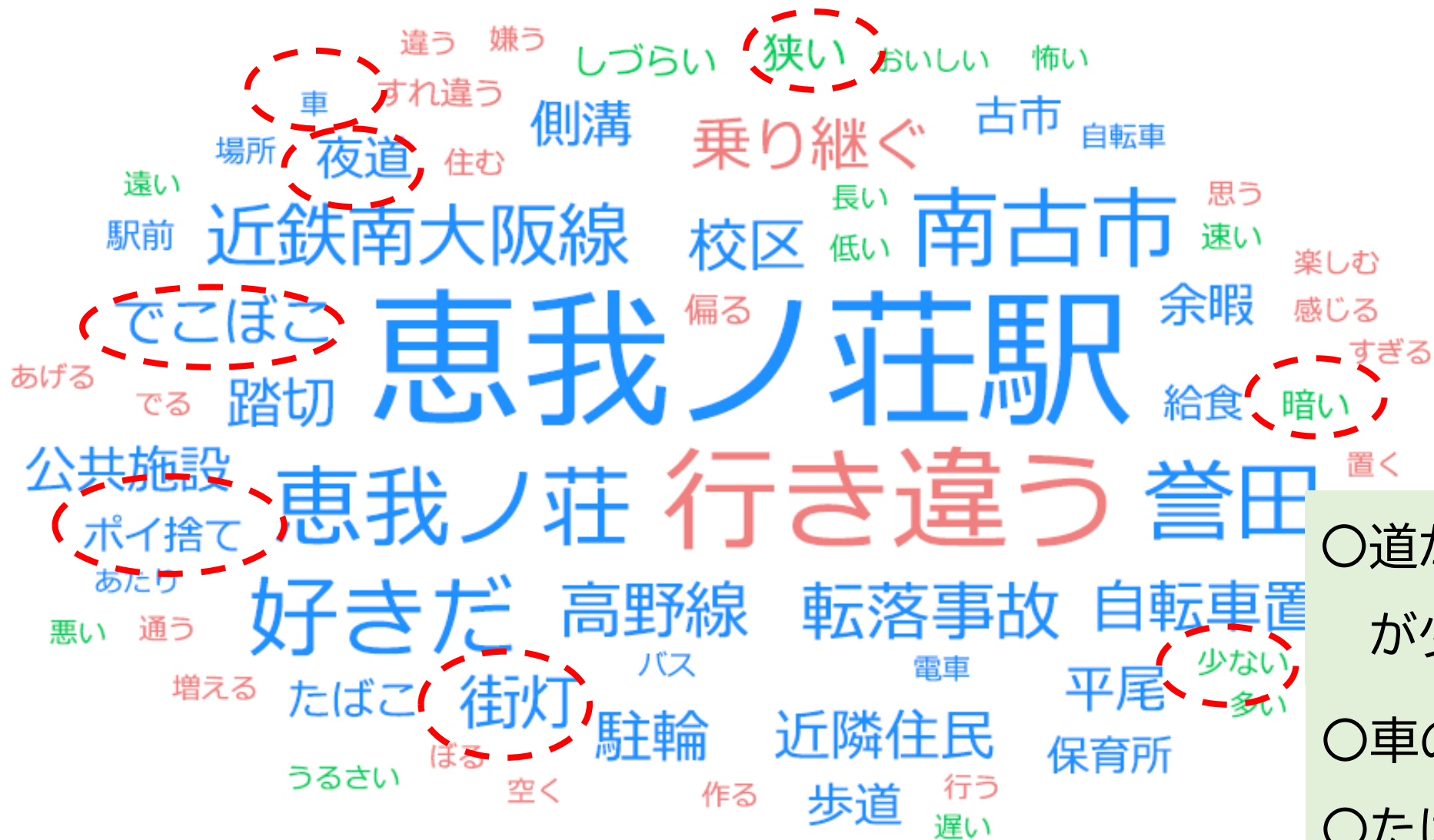
良かったこと	不満だったこと
古墳や寺社、仏閣などの歴史資源が豊か(28.7%)	公共交通や道路交通が不便である(41.1%)
買い物など日常生活の利便性が高い(27.5%)	治安が悪い(21.9%)
地元の新鮮な野菜や果物、特産品が豊富(23.8%)	買い物など日常生活が不便である(17.0%)
自然環境がよく、公園が充実している(22.6%)	子育てをする環境が充実していない(10.9%)
公共交通や道路交通の利便性が良い(18.5%)	働く場所や環境が整っていない(10.6%)
治安が良い(17.4%)	
子育てしやすい環境が充実している(15.1%)	特にない(25.3%)

【2】 転出した理由に着目した分析

■ 転出したきっかけに「生活環境の改善」とした人の羽曳野市で生活していて不満だったこと



■転出者の不満だったこと(問13) ~記述 抜粋~

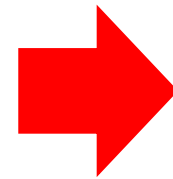
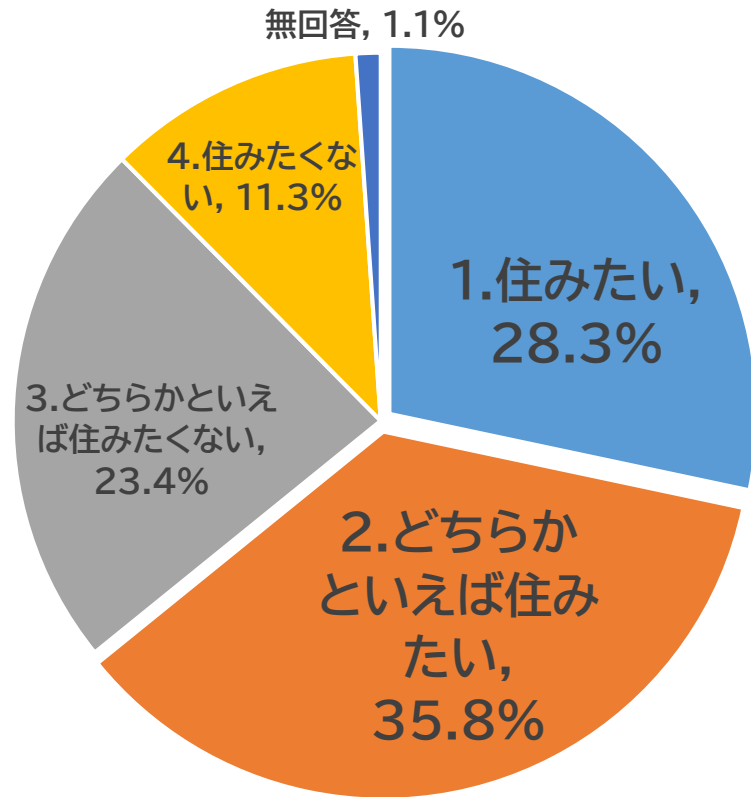


- 道が狭い、暗い(街灯が少ない)
- 車の速度が速い
- たばこのパイ捨て

【3】 転出者のUターンに着目した分析

【3】 転出者のUターンに着目した分析

■ 転出者の羽曳野市に戻る意向(問11)

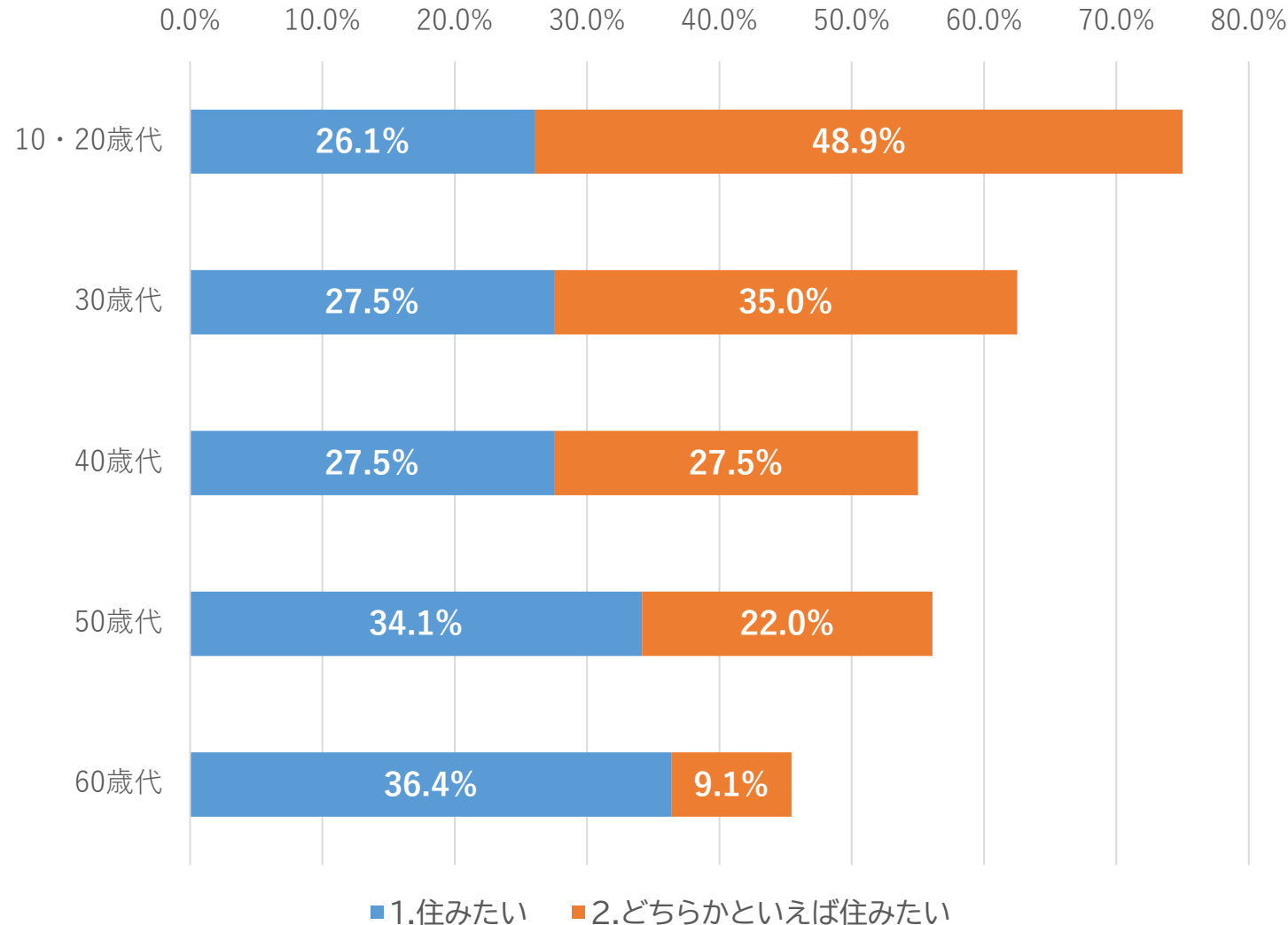


年齢構成をクロス
すると...

☆「住みたい」
+「どちらかといえば住みたい」 ⇒ 64.1%

【3】 転出者のUターンに着目した分析

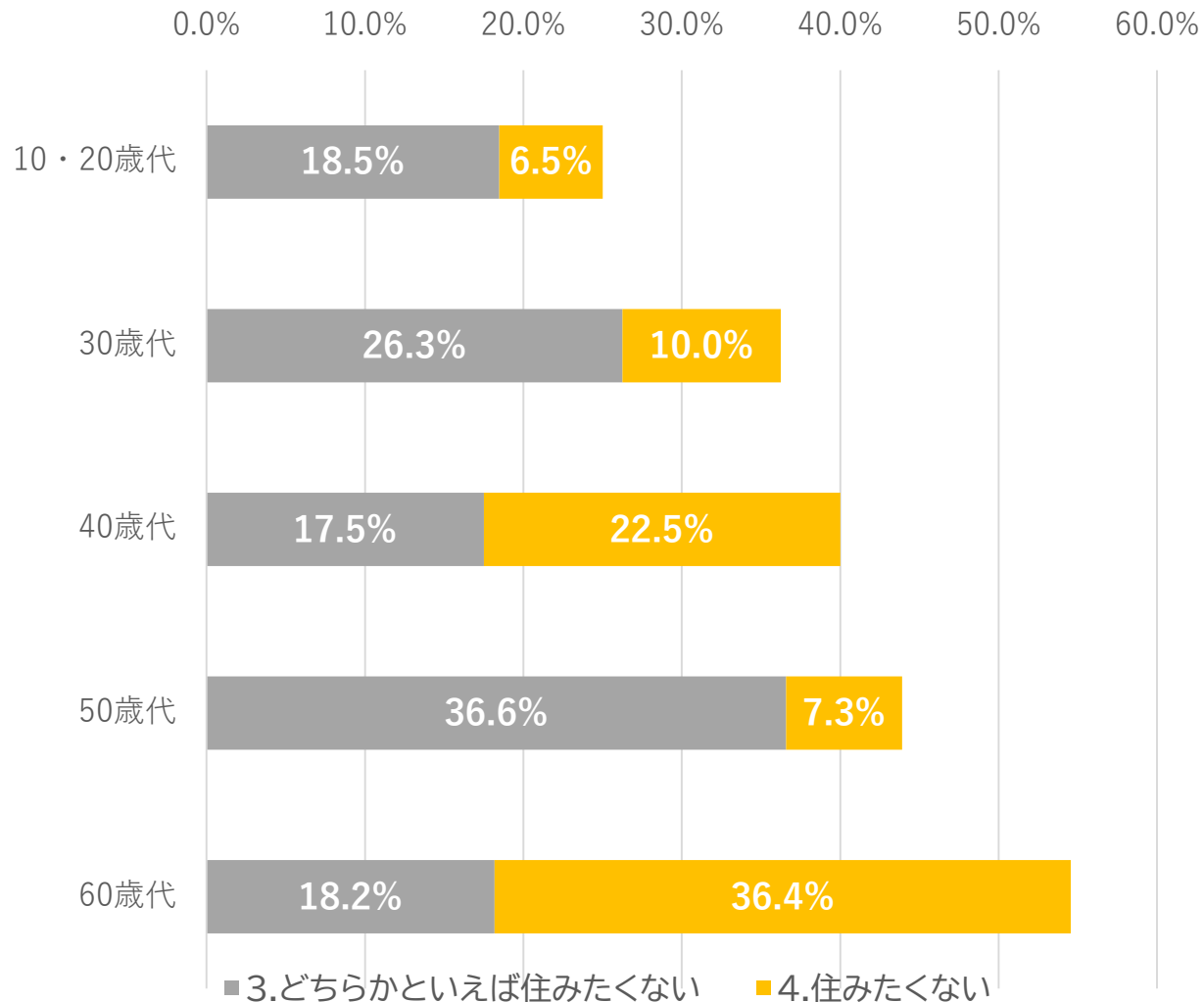
■ 転出者の羽曳野市に戻る意向(あり) × 年齢構成



○10・20歳代の割合が最も多く、年代が上がるにつれて、低くなる

【3】 転出者のUターンに着目した分析

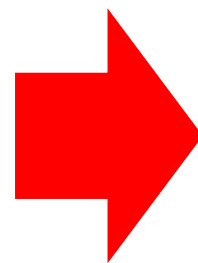
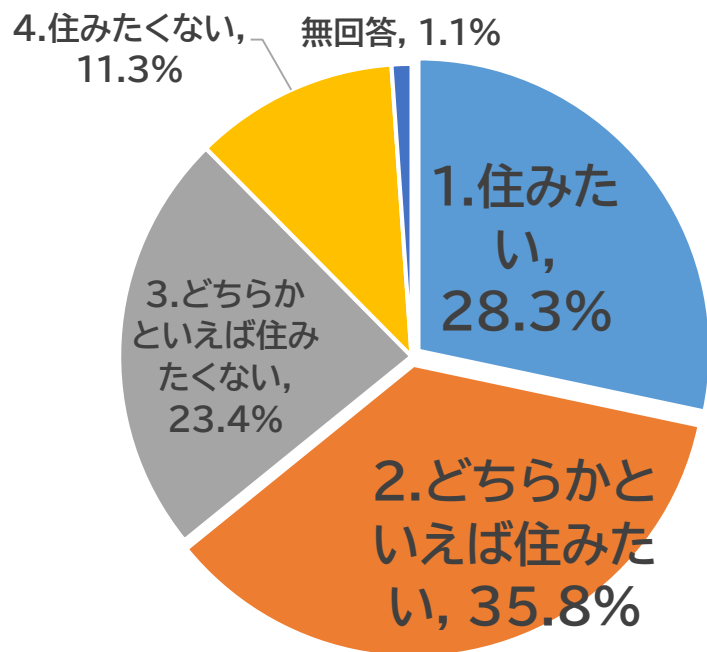
■ 転出者の羽曳野市に戻る意向(なし) × 年齢構成



○60歳代が最も割合が高く、年代が下がるにつれて低くなる

【3】 転出者のUターンに着目した分析

■ 転出者の羽曳野市に戻る意向(あり)



羽曳野市が良かった理由をクロスすると・・・

☆「住みたい」
+「どちらかといえば住みたい」 ⇒ 64.1%

【3】 転出者のUターンに着目した分析

■ 転出者の羽曳野市に戻る意向(あり) × 良かった理由

